

村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ みんなで気づく (築く) さわやか天栄

教育委員会だより No.81

発行: 天栄村教育委員会

少し不便だけれど 魅力いっぱい 天栄村!

平成30年度 キーワードは「一人一人」

平成29年度末の人事異動により、新たに17名の先生方をお迎えし、新年度がスタートしました。 また、4月11日(水)より、**久保直紀教育長**が就任されました。同じく4月11日(水)に開催され た「教育方針説明会」では、教育長より主に以下の内容の挨拶がありました。

- 学力向上・・・・幼・小・中連携による学力向上並びに教職員の尽力に感謝。
- 学ぶ環境・・・・一層の充実を図ること。
- 学校事故防止・・具体的な策を立て、未然防止に努めること。

続いて学校教育課長、生涯学習課長より、「地域コミュニティを核とした天栄だからこそできる少人数 <mark>教育</mark>」を基本理念とした基本目標と具体的な重点施策についての説明がありました。特に**、**「互いを思い やる心や支え合いの精神に溢れた風土」という天栄村の強みを生かし、学校・家庭・地域が一体となって 「学びの連鎖」を生み出すための、各学校園における連携やカリキュラム・マネジメントの推進がより一 層求められます。

4月12日(木)に行われた会議では、
県教育庁義務教育課より、

平成31年度より新たな調査方法で 実施する「福島県学力調査」の概要についての説明がありました。昨年度までの「学校の平均」からデー 夕を分析する方法から、「児童・生徒一人一人の学力の伸び」に視点を当て、学力の推移を経年で見る調 査に変更していくとのことです。更に、今年度から「**一人一人の**」という言葉が新たに付け加えられた「**一** 人一人の学力向上に責任を果たす」という言葉に対する説明があり、改めて少人数教育の趣旨やねらいを もう一度見つめ直していかなければならないと感じました。更に、「毎日行っている授業が命です。授業 で子どもの内なる力を引き出していく称賛や価値付けが、学びに向かう力をもった学級集団をつくって

いくのです。」という一単位授業の質的向上を求める県教委の言葉があ りました。平成30年度は、新学習指導要領の移行期間。「一人一人」 を大切にした授業改善に取り組めるチャンスと考え、「チーム天栄」「チ ーム学校」として実践していく1年にしていきましょう。

* 平成30年度の幼児・児童・生徒数(4月18日現在)*

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計
広戸小	25	21	17	19	19	15	116
大里小	5	6	7	11	7	10	46
牧本小	12	14	10	12	16	14	78
湯本小	2	0	0	0	5	3	10
小学校計	44	41	34	42	47	42	250
天栄中	48	51	49				148
湯本中	2	2	3				7
中学校計	50	53	52				155
天栄幼	年少 29	年中 41	年長 34				104
湯本幼	年少	年中 1	年長 1				2
幼稚園計	39	34	43				106

福 島 民 友新聞 掲 載

三面鏡 天栄村教育長に 就任した 久保 直紀さん 地 した。「教育は人なり。 一小校長などを歴 場活用 遊びに来るのが楽しみ 要とう人暮らしで 休日は趣味のゴルフに

生涯学習事業



村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択していけるよう、必要な学習環境を整え、村民の主体的な学習活動を支援出来るよう取り組んでいます。

○スポーツ少年団入団式

4月15日(日)生涯学習センター文化の森てんえいにて、スポーツ少年団の入団式を開催いたしました。式ではサッカー、ミニバスケットボール、剣道、ソフトボールの4団体、計35名の入団者に入団証(団員証)が授与されました。その後、代表の小林真弥さんに団旗が授与され、大木絢音さんが誓いの言葉で今年度の目標を堂々と宣誓していました。各団体とも決意新たに今年度のスポーツ少年団の活動が始まりました。

平成30年度 天栄村スポーツ少年団入団者数

・サッカー 18名

・ミニバスケットボール 8名

剣道2名

・ソフトボール

7名







○放課後子ども教室

4月9日(月)から大里小、牧本小、湯本小において放課後子ども教室が始まりました。今年度より、湯本小放課後子ども教室が再開されました。子どもたちは活発に参加し、下校するまでの時間を有効かつ楽しく過ごしています。

今年一年楽しく、怪我なく過ごせるように努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。







○春休み子ども教室

春休み中の3月26日~4月5日の期間、「春休み子ども教室」を開催しました。子どもたちは午前中に宿題やドリルなどに取り組み、文化の森で個々が興味を持った本を手に取り、積極的に読書をしていました。また、午後からは体育館での運動や、段ボールを使って工作などを行いました。子どもたちは怪我もなく有意義に春休みを過ごすことができました。